

NO.

福智町PTA連合会三者懇談会

Date 2009 / 8 / 21

協議内容 ① 携帯電話に関する問題 ② 薬物乱用に関する問題



学 校、家庭、行政の三者が意見を交換する、福智町PTA連合会主催の「三者懇談会」が8月21日に方城中で開催されました。町内8校の校長・PTA会長、教育長、町教育委員、町教育委員会課長ら24人が出席し「携帯電話に関する問題」と「薬物乱用に関する問題」について協議しました。参加者からは、現状の取り組みや問題点、今後の課題などについて活発な意見が交わされ「町の広報紙で取り上げてほしい」「携帯電話に対する指導が各学校ごとで

違う」「携帯は持たせたくないが公衆電話がなくなっている」「3月にシンナー等乱用撲滅大会が開催されたが、次の取り組みがまだだ。継続するべき」「町として組織的な取り組みをするべき」などの意見が出ました。

各 学校のPTAで取り組んできた問題も福智町PTA連合会として取り組み、行政や地域と連携して解決を図るために、下記事項の実施に向けて今後も協議が続けられます。

※このことについては、今後も広報紙でお知らせする予定です。

○携帯電話問題

については、各学校単独で取り組んではいるが、町全体としての共通した取り組みが必要である。今後は、そのためのプロジェクトチーム結成に向けて協議していく。

○薬物乱用問題

については「シンナー等乱用撲滅大会」を開催した町青少年問題協議会等と連携し、町を上げた取り組みを今後も地道に継続していくことが必要である。

町長日誌

▼多くの人にとって8月という月は、平和の尊さや命の大切さに思いを巡らす月になっているのではないだろうか。また、お盆の行事を通して、先祖への畏敬の念や感謝の気持ちを新たにすることも、きっとあるのではないかと思う▼少し前置きが長くなったが、広島や長崎では、今年も原爆犠牲者慰霊平和祈念式典等が開催された。しかし、今夏は、今までと違った状況下での取り組みになったのではと思っている。と言うのも、唯一の被爆国である我が国は、以前からあらゆる機会を捉えて核廃絶を訴えて来ているが、近頃強力な援軍が現れたのである。ご記憶の方も多いと思うが、アメリカのオバマ大統領が本年4月5日に、チェコのプラハで行った演説——それが核廃絶運動に大きな足音を与えていると言う。核兵器を使用したアメリカの道義的責任に言及し、核のない世界の実現に熱い思いを込めたオバマ大統領の歴史的なスピーチが、平和を願う全ての人々に明日への希望をもたらしたのである▼長崎市の田上市長も8月9日の式典でそのことを宣言した。超大国のアメリカの大統領は世界のリーダーとして、その言動はいろんな意味で注目されている。もちろん、思想・信条を超越した視点でのことであるが……。今こそ、この地球上に真の平和社会を創造するまたとない環境が整いつつあることをしっかりと認識し、互いの英知を結集して、その実現に全力を傾注すべきだと考えている。

浦田 弘二